



Python 講座

【第 2 回】演習解答例

演習 #4 ・ 解答例

```
def input_int(msg):  
    typed_str = input(msg)  
    number = int(typed_str)  
    return number  
  
hour = input_int('時: ')  
minute = input_int('分: ')  
  
if 0 <= hour and hour < 24 and 0 <= minute and minute < 60:  
    print('正しい時刻')  
else:  
    print('おかしい時刻')
```

1. input_int をつくる
2. 時と分を入力してもらう
3. 「時が 0 以上」かつ「時が 24 未満」かつ
「分が 0 以上」かつ「分が 60 未満」なら
正しい時刻と表示する

演習 #5 ・ 解答例

```
for i in range(1, 101):
    if i % 15 == 0:
        print('FizzBuzz')
    elif i % 3 == 0:
        print('Fizz')
    elif i % 5 == 0:
        print('Buzz')
    else:
        print(i)
```

- 妙な数字が出ていないか？
- 最初に「1」が、最後に 100 番目として「Buzz」が出ているか？
- 「Fizz」「Buzz」「FizzBuzz」の3種がちゃんと出ているか？

1. for を使って 100 回のループを実現するべく、1 から 100 が詰まったリストのようなものを range 関数で用意する。
2. それを変数 i に放り込んでいき、適当な文字列を表示する。

演習 #6 ・ 解答例

```
# ▼コピー▼  
  
def get_price_with_tax(price, tax):  
    return int(price * (1 + tax / 100))  
  
# 動作確認用  
umai_stick_2014 = get_price_with_tax(100, 5) # 100円+5%  
umai_stick_2015 = get_price_with_tax(100, 8) # 100円+8%  
print(umai_stick_2014)  
print(umai_stick_2015)  
# △ここまで△
```

「tax を 100 で割った値に 1 を足した値」と定価の積を求めて、それを整数にして返す。
※ 税率は 8 や 5 など、% 単位の数値です